

ワールド・リート・セレクション (アジア)

第146期末(2019年10月7日)

基準価額	6,482円
純資産総額	12,969百万円
第141期～第146期	
騰落率	△1.6%
分配金(税引前)合計	420円

ワールド・リート・セレクション (アジア)(年2回決算型)

第13期末(2019年10月7日)

基準価額	16,769円
純資産総額	240百万円
第13期	
騰落率	△1.3%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

ワールド・リート・セレクション (アジア) ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)

追加型投信/海外/不動産投信

作成対象期間：2019年4月9日～2019年10月7日

交付運用報告書

ワールド・リート・セレクション (アジア)

第141期(決算日2019年5月7日) 第144期(決算日2019年8月7日)

第142期(決算日2019年6月7日) 第145期(決算日2019年9月9日)

第143期(決算日2019年7月8日) 第146期(決算日2019年10月7日)

ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)

第13期(決算日2019年10月7日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、「ワールド・リート・セレクション(アジア)」は第146期の、「ワールド・リート・セレクション(アジア)(年2回決算型)」は、第13期の決算を行いました。

当ファンドは、アジアリート・マザーファンドを通じて、アジア(日本を除きます。)の不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

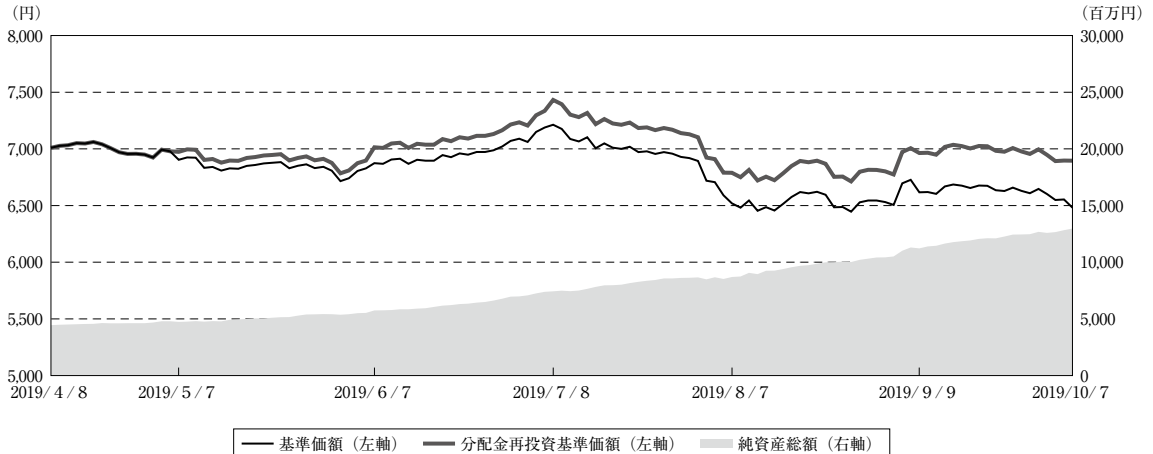
※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年4月9日～2019年10月7日)

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】



第141期首：7,010円

第146期末：6,482円 (既払分配金 (税引前)：420円)

騰落率：△1.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2019年4月8日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・シンガポールのメープルツリー・コマーシャル・トラストやメープルツリー・ロジスティクス・トラストなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

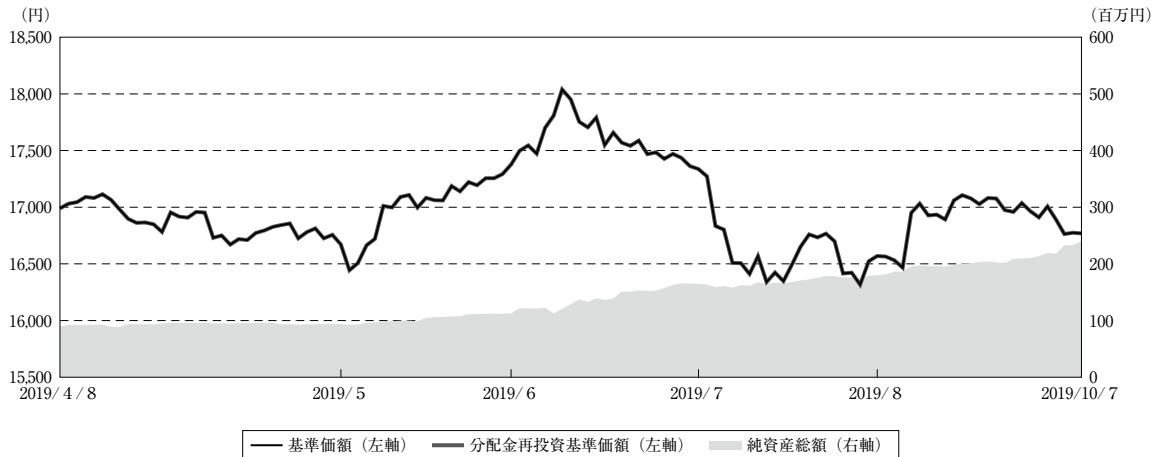
(主なマイナス要因)

- ・香港の冠君産業信託 (チャンピオンREIT) や泓富産業信託 (プロスペリティ・リート) などが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対シンガポールドルや対香港ドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

期中の基準価額等の推移

（2019年4月9日～2019年10月7日）

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】



期首：16,990円

期末：16,769円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△1.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年4月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・シンガポールのメープルツリー・コマーシャル・トラストやメープルツリー・ロジスティクス・トラストなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・香港の冠君産業信託（チャンピオンREIT）や泓富産業信託（プロスペリティ・リート）などが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対シンガポールドルや対香港ドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

(2019年4月9日～2019年10月7日)

1万口当たりの費用明細

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

項目	第141期～第146期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 56	% 0.820	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(34)	(0.492)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(19)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.027	(b) 売買委託手数料 = 作成期間中の売買委託手数料 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(2)	(0.027)	
(c) 有価証券取引税	4	0.064	(c) 有価証券取引税 = 作成期間中の有価証券取引税 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(4)	(0.064)	
(d) その他費用	3	0.038	(d) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料等
合計	65	0.949	
作成期間中の平均基準価額は、6,813円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

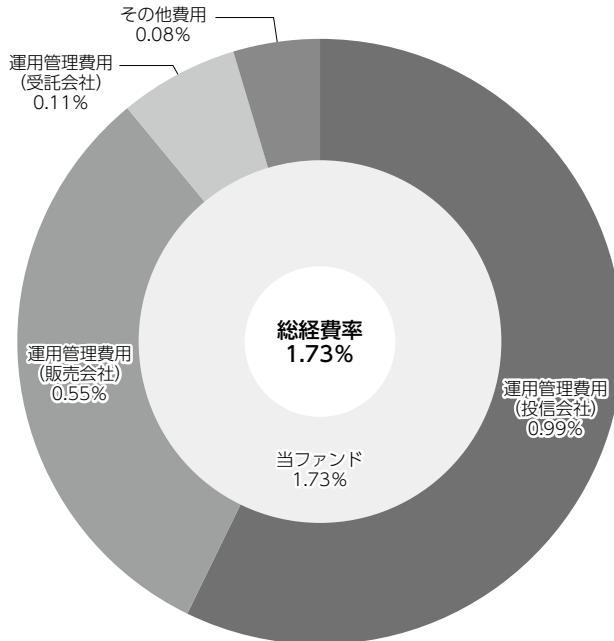
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	139 (84) (46) (9)	0.820 (0.492) (0.273) (0.055)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	5 (5)	0.028 (0.028)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	11 (11)	0.065 (0.065)	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	6 (5) (1) (0)	0.038 (0.031) (0.006) (0.000)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合計	161	0.951	
期中の平均基準価額は、16,963円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

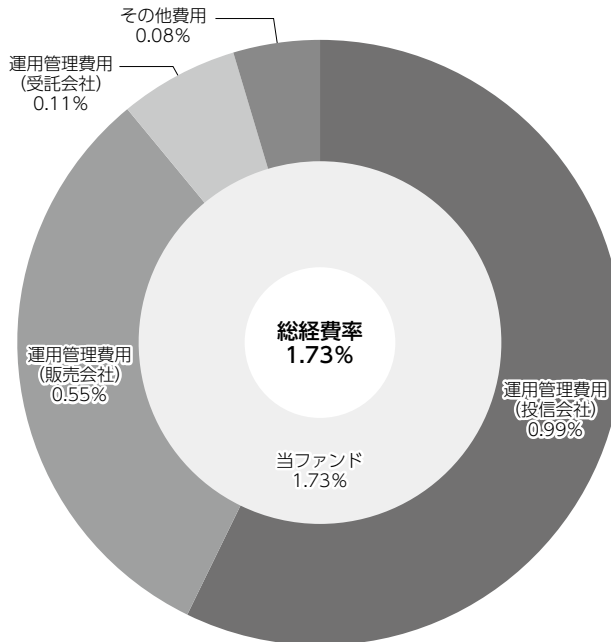
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

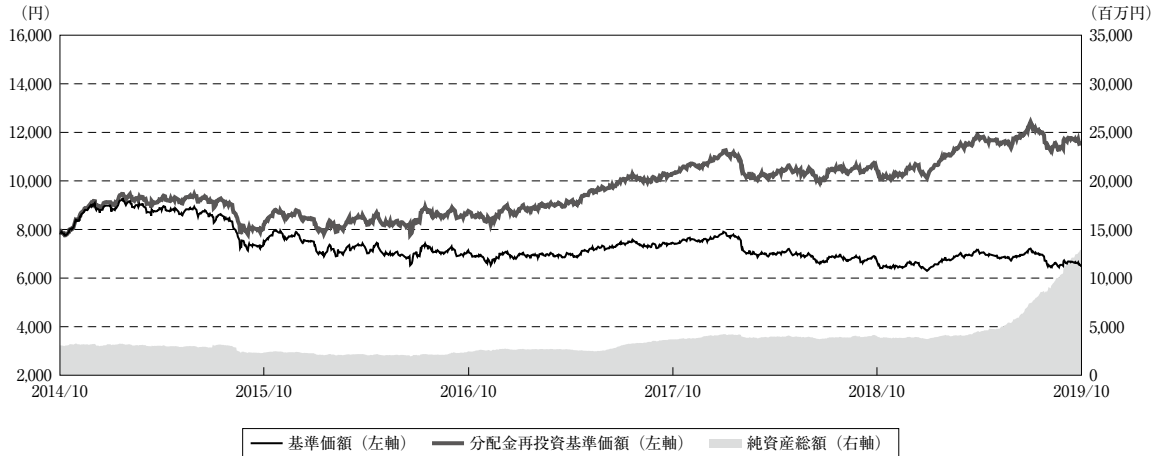
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年10月7日～2019年10月7日)

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

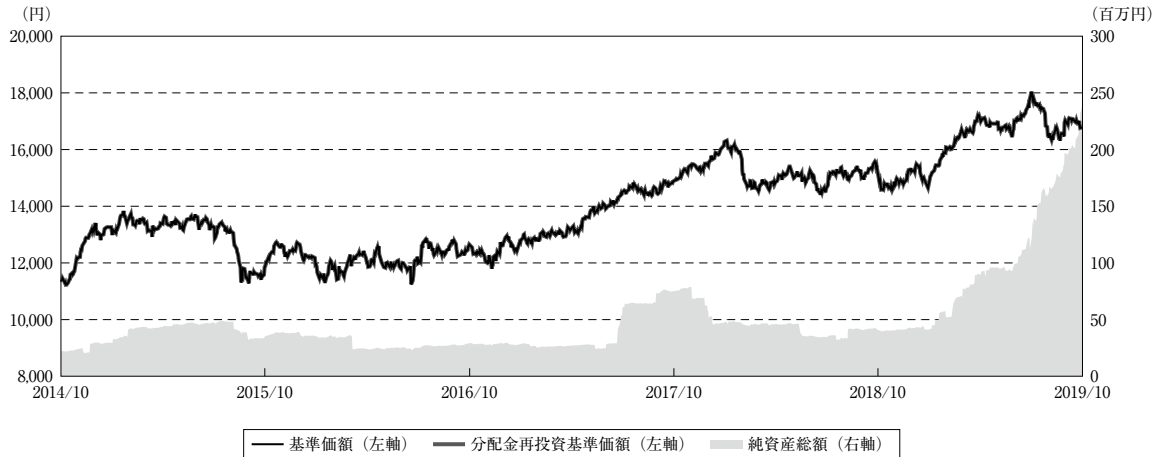


- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年10月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年10月7日 期初	2015年10月7日 決算日	2016年10月7日 決算日	2017年10月10日 決算日	2018年10月9日 決算日	2019年10月7日 決算日
基準価額 (円)	7,883	7,443	7,054	7,404	6,531	6,482
期間分配金合計(税引前) (円)	—	840	840	840	840	840
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.2	6.4	18.1	△0.6	12.4
S & P シンガポールREIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)騰落率 (%)	—	△0.6	15.2	11.2	2.5	24.1
S & P 香港REIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)騰落率 (%)	—	4.8	34.2	15.8	10.6	24.2
純資産総額 (百万円)	3,083	2,325	2,447	3,682	3,916	12,969

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S & P シンガポールREIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)およびS & P 香港REIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年10月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年10月7日 期初	2015年10月7日 決算日	2016年10月7日 決算日	2017年10月10日 決算日	2018年10月9日 決算日	2019年10月7日 決算日
基準価額 (円)	11,416	11,879	12,626	14,925	14,864	16,769
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	4.1	6.3	18.2	△0.4	12.8
S & PシンガポールREIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)騰落率 (%)	-	△0.6	15.2	11.2	2.5	24.1
S & P香港REIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)騰落率 (%)	-	4.8	34.2	15.8	10.6	24.2
純資産総額 (百万円)	21	35	29	75	40	240

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S & PシンガポールREIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)およびS & P香港REIT指数(課税後配当込み)(現地通貨ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2019年4月9日～2019年10月7日)

アジアリート市場は、シンガポールでは、リートが投資する物流関連不動産の主要テナントが債務不履行(デフォルト)となったことが悪材料となり、下落しました。しかしその後、米国以外でも一段とハト派化する(金融引き締めには慎重な姿勢を示す)中央銀行が散見されたことなどから、リーートの利回り面での投資魅力が高まり、相場が反発する展開となりました。6月以降は、米国の利下げ観測や米中通商協議への進展期待が高まったことから、一段と上昇しました。7月上旬以降は、高値警戒感から売りが先行したことに加えて、8月に入り、トランプ米大統領が対中関税第4弾を9月に発動すると表明し、米中貿易摩擦が再燃したことから、反落しました。その後、中国が景気下支え策を打ち出したことや米長期金利が低位で推移したことから、上昇基調を辿る展開となりました。香港では、香港銀行間取引金利(HIBOR)の上昇を受けた不動産価格下落への懸念などを背景に下落しました。しかしその後、米長期金利の低下に下支えされ、上値を試す展開となりました。7月上旬以降は、デモの拡大・長期化に伴う経済への影響が懸念される中、6月の貿易統計が低調な結果となり、米中貿易摩擦の影響が意識されたことから、反落しました。9月上旬には、政府が「逃亡犯条例」改正案の撤回を表明したことが好感され、一時上昇しましたが、9月中旬以降、中国の低調な経済指標が相次ぎ、中国経済の減速が意識されたことや収束の見えないデモの悪影響が嫌気されたことから、下落基調を辿る展開になりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年4月9日～2019年10月7日)

<ワールド・リート・セレクション (アジア) >

「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね90%以上で推移させ、高位の組入れを維持しました。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

<ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型) >

「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね90%以上で推移させ、高位の組入れを維持しました。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

○アジアリート・マザーファンド

リーートの組入比率は、概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

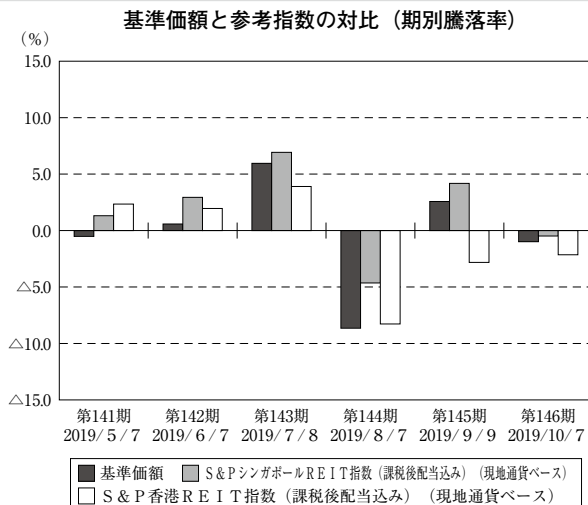
アジアの経済動向や市場規模および個別銘柄のバリュエーションに注目し、市場別の投資比率や個別銘柄の組入比率を設定しました。また、保有銘柄の入れ替えを行い、最適なポートフォリオの構築を目指しました。個別ではシンガポールのメープルツリー・インダストリアル・トラストやサバナ・シャリア・コンプライアント・リアル・エステート・インベストメント・トラストなどを新規に組み入れました。一方、マレーシアのKLCCPステープルド・グループやパビリオン・リアル・エステート・インベストメントを全て売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年4月9日～2019年10月7日）

【ワールド・リート・セレクション（アジア）】

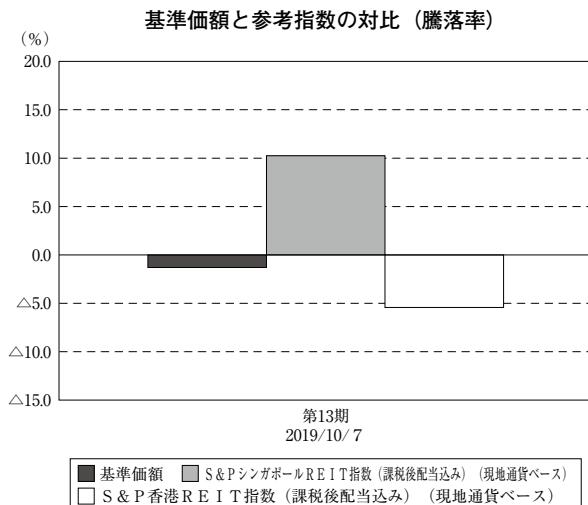
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
 (注) 参考指数は、S & PシンガポールREIT指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）、S & P香港REIT指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）です。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
 (注) 参考指数は、S & PシンガポールREIT指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）、S & P香港REIT指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）です。

分配金

(2019年4月9日～2019年10月7日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。各ファンドの収益分配金につきましては、下記の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

当作成期間におきましては、第141期から第146期の決算時に、それぞれ1万口当たり70円（税引前）、合計420円（税引前）の分配を行いました。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期
	2019年4月9日～ 2019年5月7日	2019年5月8日～ 2019年6月7日	2019年6月8日～ 2019年7月8日	2019年7月9日～ 2019年8月7日	2019年8月8日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月7日
当期分配金	70	70	70	70	70	70
(対基準価額比率)	1.004%	1.008%	0.961%	1.062%	1.047%	1.068%
当期の収益	40	7	70	33	16	2
当期の収益以外	29	62	-	36	53	67
翌期繰越分配対象額	3,149	3,087	3,391	3,360	3,309	3,242

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

【ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)】

当期間におきましては、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指す観点から、分配を見送らせていただきました。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第13期
	2019年4月9日～ 2019年10月7日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	- %
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,769

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

アジアリート市場は、米中貿易摩擦の影響が懸念されるものの、リーートのディフェンシブな特性や安定的な業績に下支えされ、底堅く推移する展開になると予想されます。シンガポールでは、国際会議や展示会などの開催地として国際的な評価が高く、外国人来訪者数の伸びは続くと見込まれます。また、香港の政情不安を受けて、中国からの訪問者数の増加が予想され、ホテルに投資するリート中心に業績改善が期待されます。香港では、デモの長期化が景気へ与える悪影響が懸念される中、リーートのディフェンシブな特性の魅力が高まると見られることや継続的な賃料収入により引き続き安定的な業績が予想されます。

（運用方針）

<ワールド・リート・セレクション（アジア）>

<ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）>

主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては、組入比率が高位にならない場合があります。

○アジアリート・マザーファンド

外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しDWS インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくポートフォリオ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

お知らせ

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

【ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)】

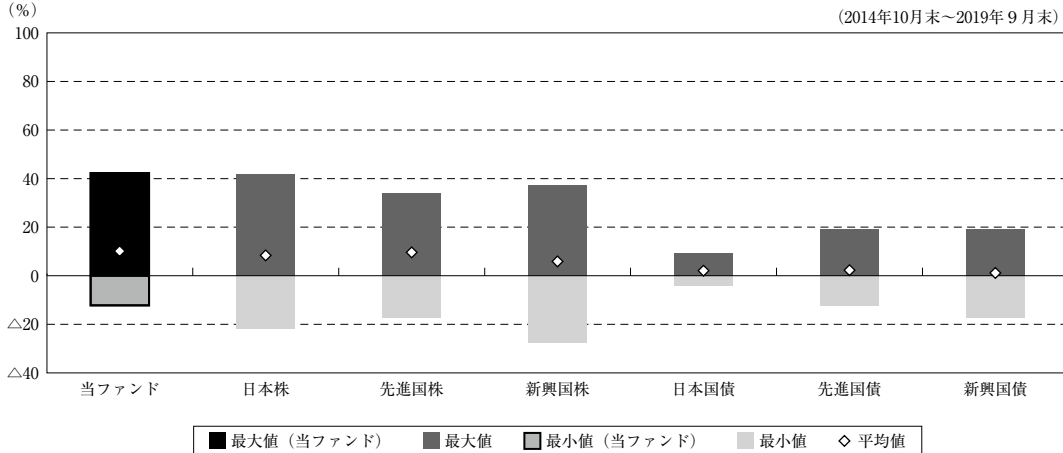
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	ワールド・リート・セレクション (アジア)	2007年7月31日から、原則として無期限です。
	ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)	2013年6月3日から、原則として無期限です。
運用方針	アジアリート・マザーファンド (以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、アジア (日本を除きます。) の不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	両ファンド共通	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	アジアリート・マザーファンド	アジア (日本を除きます。) の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	両ファンド共通	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	アジアリート・マザーファンド	アジア (日本を除きます。) の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に分散投資し、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エルシーに外貨建資産の運用指図 (外国為替予約取引の指図を除きます。) に関する権限を委託します。
分配方針	ワールド・リート・セレクション (アジア)	毎月7日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、原則として、以下の分配方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、6月と12月の決算時の配当方針は、それぞれの決算日に売買益 (評価益を含みます。) 等が存在するときは、配当等収益に売買益 (評価益を含みます。) 等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。
	ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)	毎年4月7日および10月7日 (それぞれ休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較
【ワールド・リート・セレクション (アジア)】



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△12.2	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	10.1	8.4	9.6	5.9	2.1	2.3	1.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年10月から2019年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

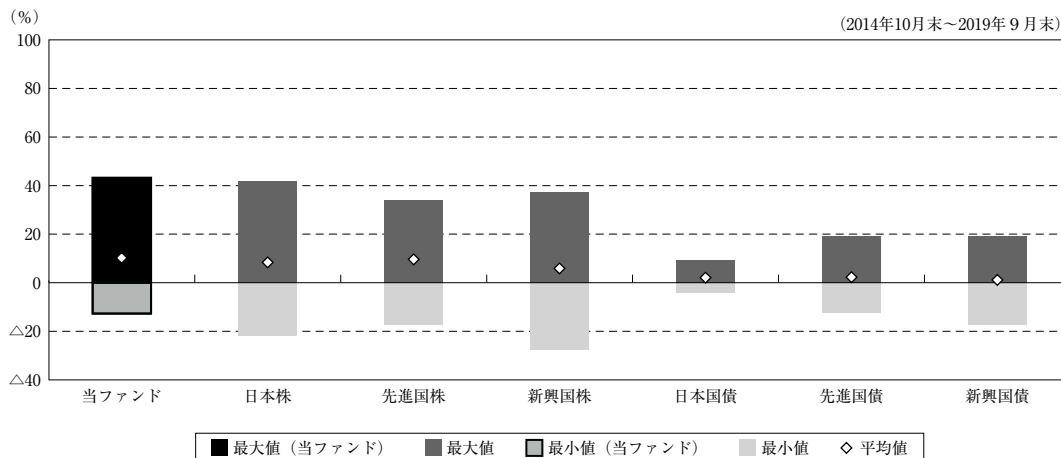
先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国債
最大値	43.2	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△12.7	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	10.2	8.4	9.6	5.9	2.1	2.3	1.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年10月から2019年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

組入資産の内容

(2019年10月7日現在)

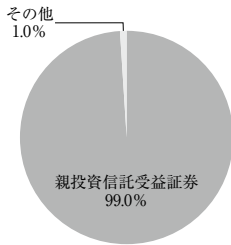
○組入上位ファンド

銘柄名	第146期末
アジアリート・マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

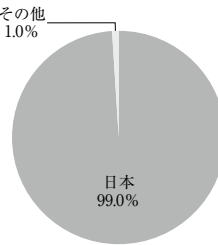
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

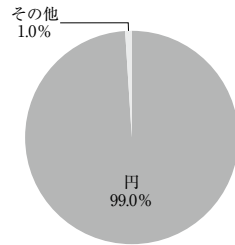
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第141期末	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末
	2019年5月7日	2019年6月7日	2019年7月8日	2019年8月7日	2019年9月9日	2019年10月7日
純資産総額	4,737,394,546円	5,751,154,202円	7,429,855,364円	8,692,640,119円	11,216,152,960円	12,969,496,658円
受益権総口数	6,861,711,215口	8,366,404,626口	10,300,607,181口	13,334,454,749口	16,950,769,727口	20,009,357,301口
1万口当たり基準価額	6,904円	6,874円	7,213円	6,519円	6,617円	6,482円

(注) 当作成期間(第141期～第146期)中における追加設定元本額は14,353,498,859円、同解約元本額は686,336,822円です。

当ファンドのデータ【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

組入資産の内容

（2019年10月7日現在）

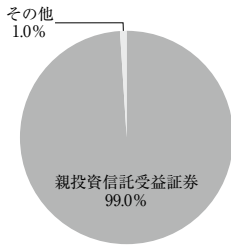
○組入上位ファンド

銘柄名	第13期末
アジアリート・マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

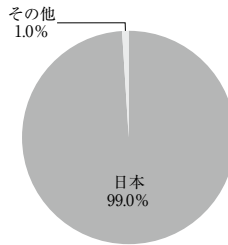
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

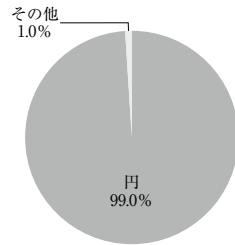
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

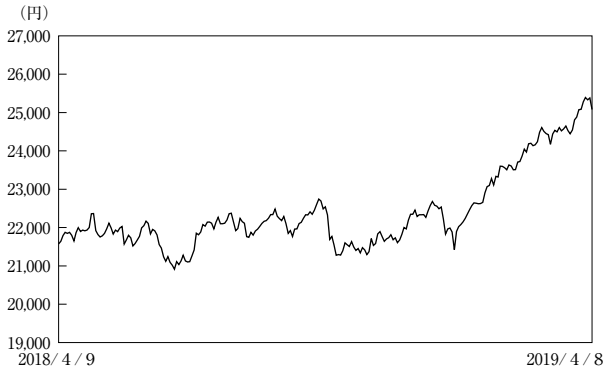
項目	第13期末
	2019年10月7日
純資産総額	240,022,327円
受益権総口数	143,131,320口
1万口当たり基準価額	16,769円

（注）期中における追加設定元本額は119,685,059円、同解約元本額は29,061,767円です。

組入上位ファンドの概要

アジアリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年4月10日～2019年4月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	6 (6)	0.027 (0.027)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	8 (8)	0.036 (0.036)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	18 (18) (0)	0.078 (0.078) (0.000)
合計	32	0.141
期中の平均基準価額は、22,483円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

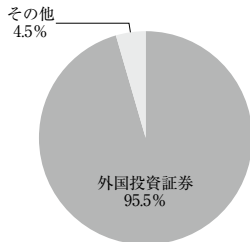
【組入上位10銘柄】

(2019年4月8日現在)

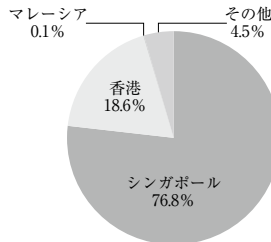
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	LINK REIT	投資証券	香港ドル	香港	8.3
2	MAPLETREE COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	8.2
3	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	8.2
4	FRASERS LOGISTICS & INDUSTRI	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	7.7
5	FORTUNE REIT	投資証券	香港ドル	シンガポール	7.5
6	CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	7.5
7	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	6.7
8	CAPITALAND RETAIL CHINA TRUS	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	6.5
9	AIMS APAC REIT MANAGEMENT LT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	6.1
10	PROSPERITY REIT	投資証券	香港ドル	香港	5.4
組入銘柄数			25銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

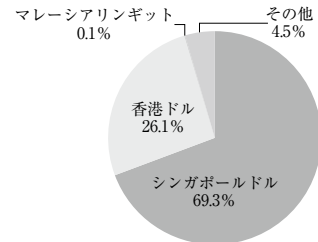
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。